

鹿島共同再資源化センター(株)

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	吉田 宏 (非常勤)	所管部(局)課	生活環境部廃棄物対策課	
所在地	茨城県鹿島郡神栖町大字東和田21番地3	電話番号	0299-95-1111	
ホームページURL		E-mailアドレス	ksrpc0104@kr-c.co.jp	
資本金(基本財産)	3,308,000 千円	設立年月日	平成10年12月1日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	500,000 千円	15.1 %
	2	鹿島地方事務組合	500,000 千円	15.1 %
	3	日本政策投資銀行	500,000 千円	15.1 %
	4	住友金属工業(株)	500,000 千円	15.1 %
	5	三菱化学(株)	500,000 千円	15.1 %
	その他	75 団体	808,000 千円	24.4 %
設 立 的 目 的	平成4年に茨城県、鹿嶋市、神栖町、波崎町、立地企業12社から成る「鹿島工業団地地域産業廃棄物処理システム検討委員会」を設置し、平成6年に指針が取りまとめられた。平成7年3月に設立の為の企画書を発行。平成10年12月に当社が設立された。			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内 容
事業1	946,000 千円	鹿島工業団地地域内の共同処理のモデル事業 自治体ごみの固形燃料を広域処理のモデル事業 ダイオキシン対策のモデル事業
事業2	千円	(実施する事業について、事業の目的・内容、公益性(県民への貢献度)等について記入する。)
事業3	千円	(実施する事業について、事業の目的・内容、公益性(県民への貢献度)等について記入する。)

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成14年			平成15年			平成16年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤取締役	5	0	1	4	0	1	5	0	1
	非常勤取締役	8	0	0	8	0	0	8	0	0
	常勤監査役	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	非常勤監査役	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	16	0	1	15	0	1	16	0	1
職員	管理職	6	0	1	5	0	0	6	0	0
	一般職	20	0	0	20	0	0	22	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	26	0	1	25	0	0	28	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	5	3	5	15	28	46歳 3月	3年 3月			

[収支の状況]

鹿島共同再資源化センター(株)

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収益合計	651,608	965,362	1,119,962
	売上高	647,739	953,835	1,112,933
	営業外収益	3,869	11,527	7,029
	費用合計	885,750	1,115,296	1,105,009
	営業費用	799,845	1,021,314	1,023,170
	営業外費用	85,905	93,982	81,839
	うち管理費	112,175	101,222	87,797
	うち人件費	168,236	168,106	155,617
	経常損益	-234,142	-149,934	14,953
	特別利益	44,400	0	0
	特別損失	44,534	3,552	0
	税引前当期損益	-234,276	-153,486	14,953
	法人税, 住民税, 事業税	950	950	950
	当期損益	-235,226	-154,436	14,003
	前期繰越損益	-29,368	-264,594	-419,030
	当期末処分利益・ 未処分損失	-264,594	-419,030	-405,027
利益処分額・損失 処理額	0	0	0	
次期繰越損益	-264,594	-419,030	-405,027	
財 産 の 状 況	資産	5,378,661	5,245,047	5,221,238
	流動資産	505,889	629,742	880,052
	固定資産	4,574,242	4,394,625	4,194,065
	繰延資産	298,530	220,680	147,121
	負債	2,335,256	2,356,078	2,318,266
	流動負債	77,145	134,079	282,333
	うち短期借入金	0	39,200	185,600
	固定負債	2,258,111	2,221,999	2,035,933
	うち長期借入金	2,250,000	2,210,800	2,025,200
	資本	3,043,405	2,888,969	2,902,972

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	44,400	0	0
	委託金	0	0	0
	貸付金			
	計	44,400	0	0
	財政的関与の割合(%)	7%	0%	0%
	損失補償・債務保証			

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	
貸付金	

[評価総括]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	4	8	10	80.0%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	7	40	17.5%
効率性	8	14	28	50.0%
合計	31	45	94	47.9%

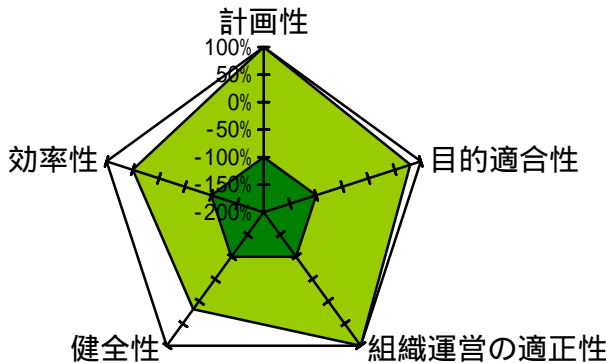
企業会計用

鹿島共同再資源化センター(株)

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 5px;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>排出物のリサイクル化の中で廃棄物の減少等もあり経営環境は厳しいが、安全性や環境対策に十分配慮しながら、廃棄物処理量の安定的確保や高利益商品の処理量拡大等とともに経費削減を図り、計画的に累積損失の解消に努めていく必要がある。 県は、株主として当社の経営をチェックするとともに地元市町の調整的役割を果たしていくことが重要であり、今後も必要以上の関与はしないことが望ましいと考える。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>平成13年4月に開業したため、設備投資負担等により当面利益計上は困難と予想したが、肉骨粉本格処理等の特需に支えられ、営業開始後3年目にして初めて経常利益及び当期損益が黒字に転じた。 今後とも、安全性や環境対策についての指導と合わせ、処理量の拡大と管理費等のコスト削減を図り、累積損失が解消されるよう、県としては地元市町との調整を図りながら必要な指導・助言を行うとともに、経営をチェックしていきます。</p>
-------------	---

< 鹿島共同再資源化センター(株) から県民のみなさまへ >

当社は資源の有効活用と大気環境の改善を目的として、地域社会と企業が一体となり、全国に先駆けて設立した資源循環型のモデル企業です。
 平成13年4月に操業開始以来、順調に稼働を続け、発電も安定的に行い、排ガス環境測定結果も良好に推移しております。また、この間に日本各地、海外から5,000名のご見学の皆様をお迎えするなど、住民の皆様や企業の皆様に信頼を頂ける企業に育ってきました。
 今後も、より一層安全安定操業に努めて参ります。
 平成17年2月 代表取締役社長 吉田 宏

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成15年1月～3月に渡り経営改善のための見直しを実施し、努力目標を設定した。平成15年度は全ての項目に渡りその目標を達成した。	顧客満足度調査は実施していないが、年1回全顧客を集め、事業説明会を実施しており、その際に顧客の要望、意見を伺っており、当社の営業施策に反映している。(例:灰溶融化処理依頼)	平成16年4月には地元高校新卒者2名を採用し、20名の現業ポスト中7名を地元採用者が占めることとなった。今後も人員適正化を図っていく。	15年度損益は、操業3年目にして14百万円の黒字を達成。(計画では、10年目)今後も、企業廃棄物等の処理量拡大を図るとともに、更なるコスト削減を図りたい。	当初想定と異なる種々の取引先等からの要請やコストアップ要因に対し創意工夫にて対応、運転ノウハウの蓄積でコスト削減を推進。
今後の事業展開の方向	更なる収益改善のためには、廃棄物処理量確保とコスト削減が必要。そのための対策として以下の対策を検討 (1) 廃棄物処理量の確保(受入体制整備、処理方法検討、新規の産業廃棄物排出事業者発掘) (2) コスト削減(助剤・薬剤や燃料の原単位引下げ、安価購入、燃焼効率改善、灰処理費削減) (3) RDF環境対策費の検討 (4) 施設の維持管理費(補修費)の削減(工事発注の多様化による工事費削減、炉内クリンカー発生抑制、炉内耐火物寿命長期化検討)			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成10年に策定した長期計画の「鹿島共同再資源化センター事業企画書」をベースに事業を展開している。 また、事業の執行状況等によっては、経営改善のための見直しを行い、努力目標を設定し、その目標を達成するなど、現行の目的に向けた手法は評価できる。	当センターは、地域社会と企業との共存共栄を目指し、鹿島地域の振興発展に寄与することを目的に設立されたものであり、関係市町村及び鹿島臨海工業地帯立地企業から排出される廃棄物について、適正に処理・処分を行っており、当センターの当地域に果たす役割は大きい。	当センターは、稼働して間もないことから企業からの熟練者の出向を主体に運営しているが、平成16年に、地元高校新卒者2名を採用した。これは、将来にわたって当センターの適正な水準の維持及び望ましい年代構成を考慮したもので評価できる。	経常損益及び当期損益が営業開始後、3年目にして初めてプラスに転じ、14百万円の当期純利益となった。これは、主として肉骨粉本格処理に加え、コスト削減等の営業努力によるものであり、評価できる。	職員1人当たりの管理費及び人件費比率が、年々、減少している。一方、職員1人当たりの売上高及び職員1人当たりの経常利益が、年々、増加していることは評価できる。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
	該当なし		該当なし	
法人担当課の意見	当センターは、鹿島臨海工業地帯立地企業及び関係市町(鹿嶋市、神栖町及び波崎町)から排出される産業廃棄物及びRDFを混焼し、その焼却熱の利用による電気事業を通じて、鹿島地域の振興発展に寄与することを目的に設立されたものである。 営業開始(平成13年4月1日～)後、間もないことから、今後の実績により当センターの企業評価を行う必要があり、当初計画では10年後に黒字化することとしている。しかし、肉骨粉本格処理等の特需に支えられ、営業開始後3年目にして、初めて経常損益及び当期損益がプラスに転じたことは評価できる。 今後とも、産業廃棄物及びRDFの受入量拡大に向け、営業努力を継続するとともに、焼却処理費の削減や設備維持費の圧縮等コスト削減を図り、繰越損失の減少に努める必要がある。			